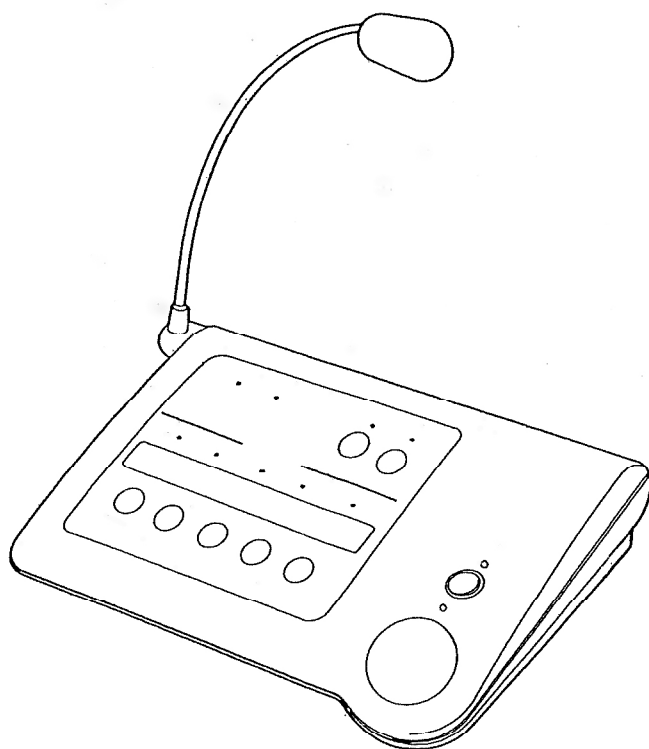


もくじ

5局リモートマイク

RM-2005



このたびは、5局リモートマイク RM-2005 をお買上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みに
なり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

取 扱 説 明	ご使用になる前に…………… 2
	概要、機器の特長…………… 3
工 事 説 明	各部の名称とはたらき… 4、5
	放送のしかた…………… 6、7
工 事 説 明	設置上のご注意…………… 8
	ネジなし端子台の…………… 9
	接続のしかた
	本体アンプ(TA-2000シリーズ) ……10
	の接続のしかた
	ACアダプタの……………10
	接続のしかた
	壁掛のしかた……………11
	アドレス設定のしかた……………12
	マイク音量の調節のしかた…12
	記名カードの記入(交換)の ……12
	しかた
工 事 説 明	ブロック図……………13
	仕様、付属品……………14
	底面寸法図
	(壁掛金具取付時) ……14
故障かな?と思ったら……………15	
アフターサービスについて…16	

取扱説明

■ ご使用になる前に

安全にお使いいただくために

- 内部には絶対に触れないでください。感電や故障の原因になります。異常にお気付きのときは、販売店にご連絡ください。
- 万一異常な音・におい・煙が出たときは、電源線をはずし、すぐに販売店にご連絡ください。
- 内部に万一異物が入った場合は、電源線をはずし、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用しますと、火災や感電の原因となります。

取扱いにご注意

- 本機を直射日光のあたる場所や暖房器具の近くなどで使用しないでください。ケースや部品に悪い影響を与えます。
- 本機を湿気やほこりの多い場所で使用したり、放置したりしないでください。万一、内部に水が入ると感電事故や故障の原因となります。
- 本機の上に重いものを置かないでください。ケースを痛めたり、故障の原因となります。
- 衝撃を与えないでください。
落としたり、ぶついたりして強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因となります。
- ケースに殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因になります。

お手入れのしかた

- ケースや操作パネルの部分の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。ベンジン・シンナーなどは、絶対に使用しないでください。

■ 概 要

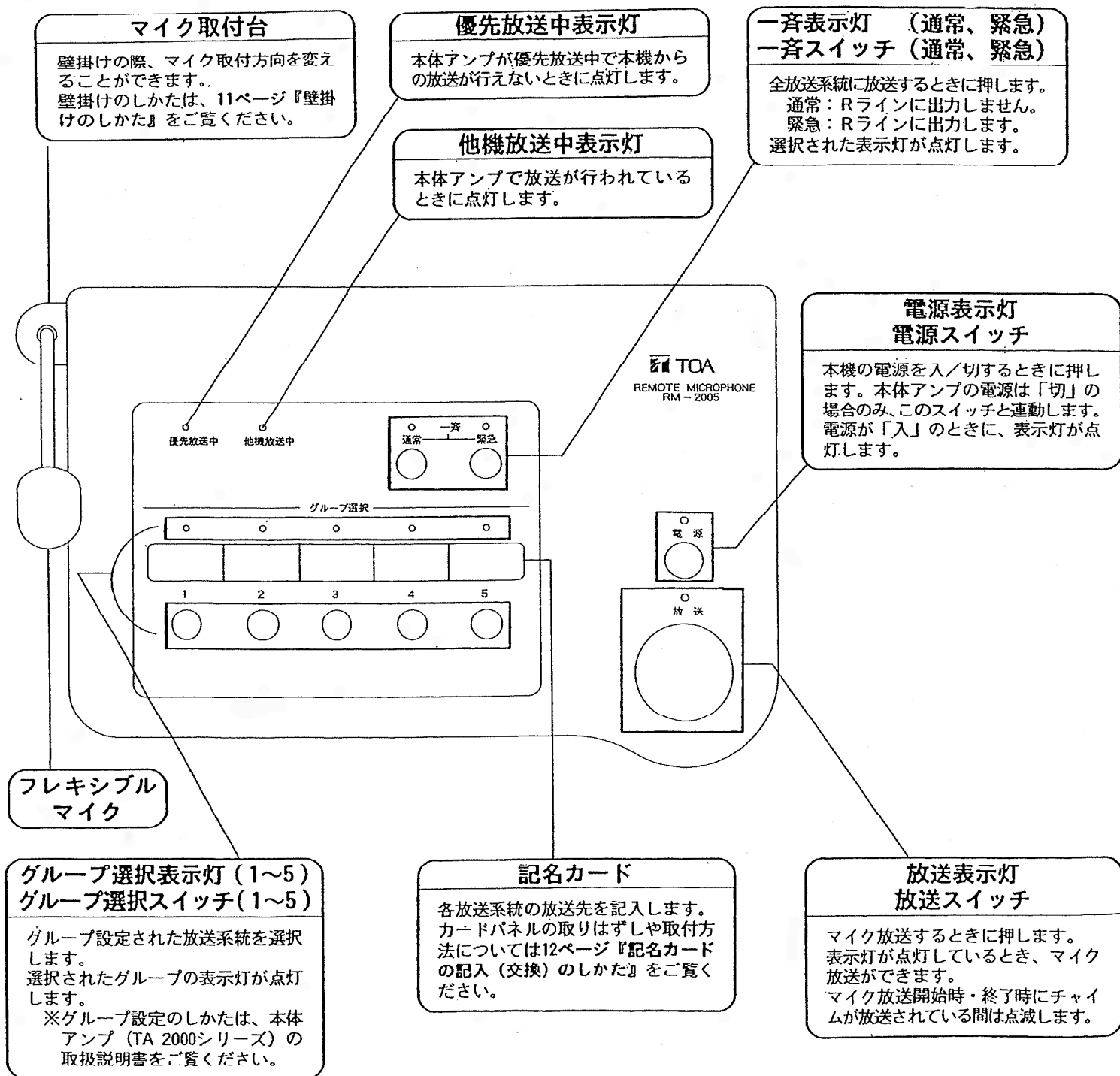
本機はPAアンプTA-2000シリーズ（以下、本体アンプ）専用の5局リモートマイクです。
本体アンプの電源、放送系統、チャイムの制御ができます。
最大4台まで増設可能です。（アドレスNo.の設定必要）

■ 機器の特長

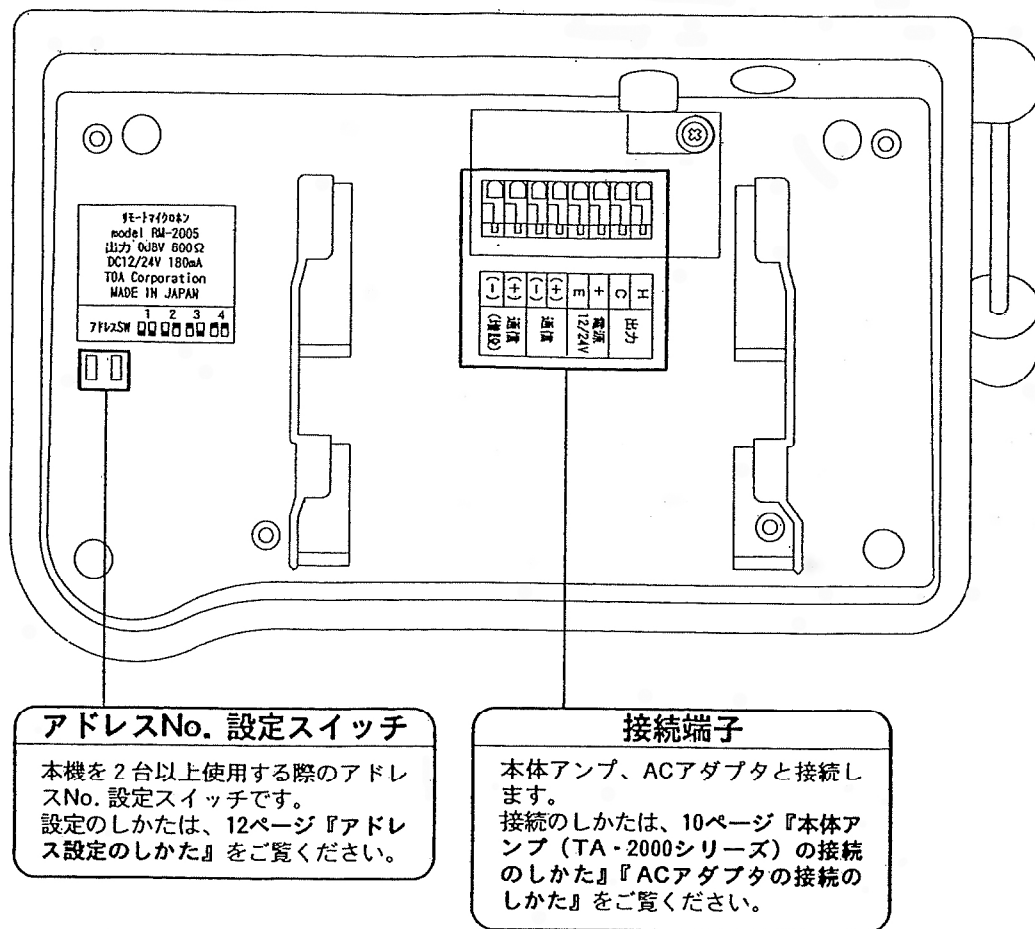
1. 表示灯により、本体アンプの放送状態を見ながら放送できます。
2. 通常一斉、緊急一斉の2種類の一斉放送が可能です。
3. 本体アンプでグループ設定された放送系統への放送が可能です。（5グループ）
4. 放送スイッチと連動して、本体アンプのチャイムが起動します。
5. 単一指向性マイクロホンを採用しています。
6. 壁掛型としても使用できます。
7. RS-485通信制御により、省線化しています。
8. 本体アンプに5局スピーカセレクト（SS-2005）を増設された場合、本機から増設機の制御も可能です。

■ 各部の名称とはたらき

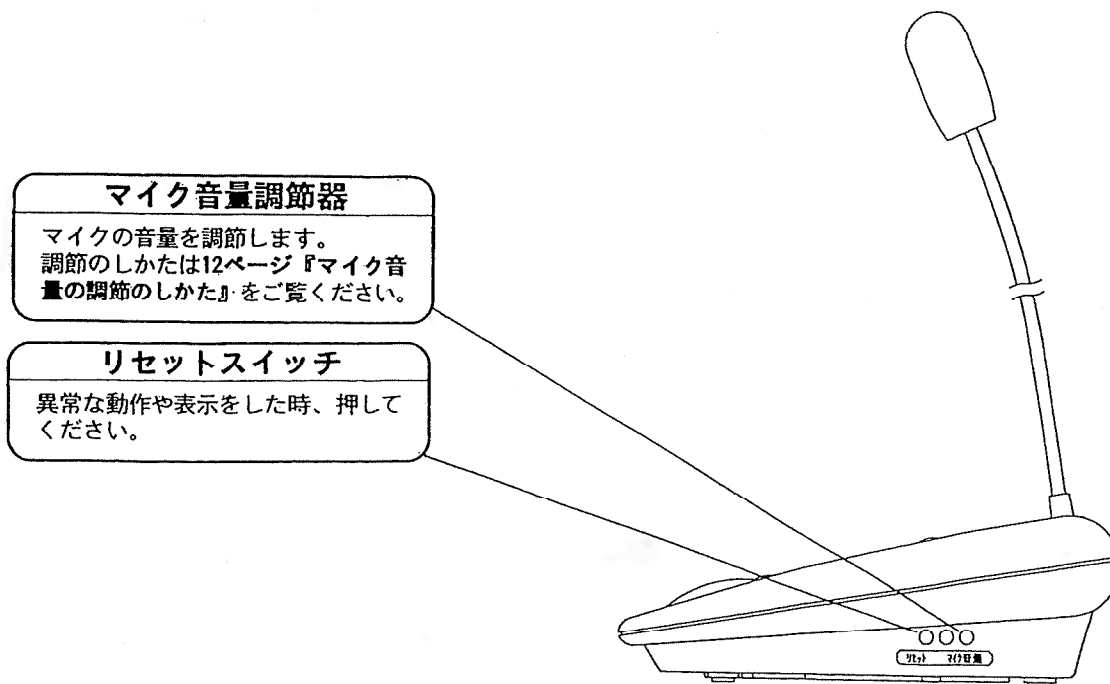
〈前面〉



〈底面〉



〈側面（右側）〉



■ 放送のしかた

1～6の順に操作してください。

1. 電源スイッチを押します。

電源スイッチが入り、電源表示灯が点灯します。本体アンプの電源も連動して入ります。

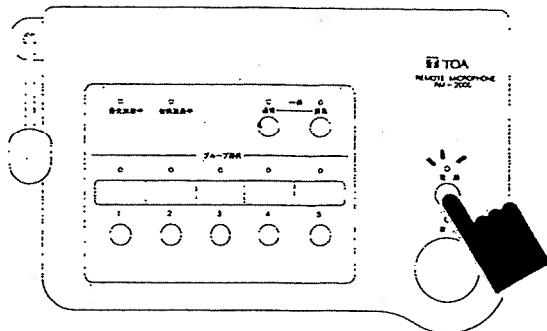
- 優先放送中表示灯が点灯している場合

本体アンプで優先度の高い放送が行なわれています。
本機からの放送はできません。
表示灯が消えるのを待って放送してください。

- 他機放送中表示灯のみ点灯している場合

他のマイクから放送が行なわれています。
本機から放送を行なうと、現在行なわれている放送が切れ、
本機からの放送に切り換わりますのでご注意ください。

- 放送の優先順位については、PAアンプ（TA-2000シリーズ）の取扱説明書をご覧ください

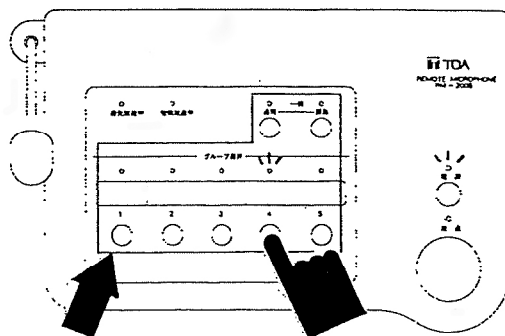


2. 放送系統を選択します。

一斉スイッチ、グループ選択スイッチで放送系統を選択します。

選択された放送系統表示灯が点灯します。

（解除する場合は、選択されている放送系統スイッチを再度押してください。）



- 全ての放送系統に放送する場合

緊急ライン(R)に出力する場合……緊急一斉を選択します
緊急ライン(R)に出力しない場合…通常一斉を選択します

- グループ設定された放送系統に放送する場合
（グループ設定は、本体アンプで設定します。）

グループ選択スイッチで放送したい放送系統を選択します。

ご注意

通常一斉、緊急一斉が選択されている時には、
全てのグループ選択表示灯が点灯し、グループ
選択はできません。

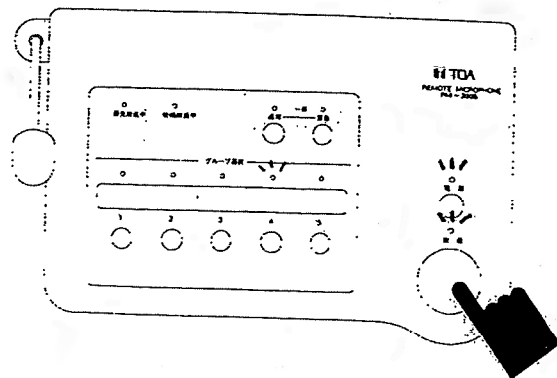
通常一斉、緊急一斉の選択を解除してからグル
ープ選択を行ってください。

3. 放送スイッチを押します。

本機からの放送が可能となります。
(放送システムが選択されていないと、放送ができません。放送システムを選択してから放送スイッチを押してください。)
本体アンプのチャイムが起動され、チャイム放送中は放送表示灯が点滅します。
チャイム放送が終わると放送表示灯が点灯します。

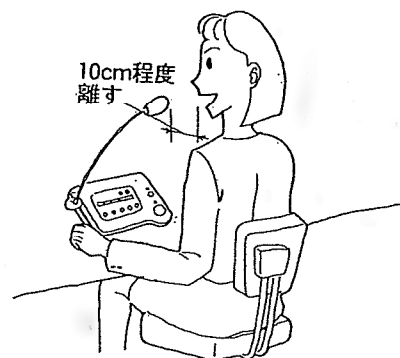
【注意】

チャイム音の設定は本体アンプで行ないます。
本体アンプでマイクチャイムが「切」の設定になっている場合、チャイムは放送されません。



4. マイクから放送します。

放送表示灯が点灯しているのを確認して放送してください。
マイクから 10 cm 程度離れて放送してください。

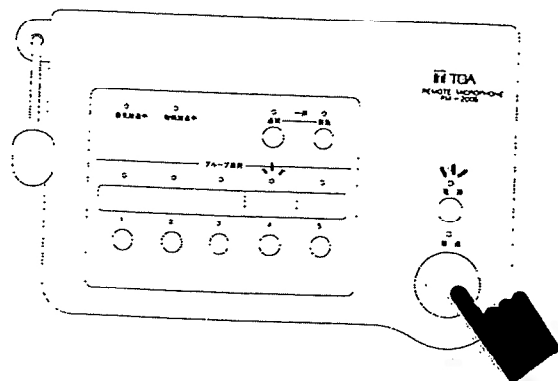


5. 放送が終わったら

放送スイッチを押します。
本体アンプのチャイムが起動され、放送表示灯が点滅します。
チャイム放送が終わると放送表示灯が消灯します。

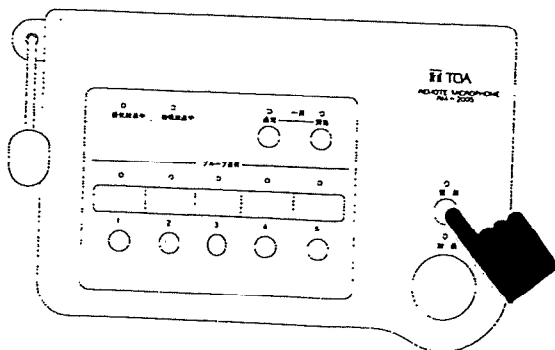
【注意】

本体アンプでマイクチャイムの設定が「上り、下り 4 音チャイム」以外の設定になっている場合、チャイムは放送されません。



6. 電源を切ります。

電源スイッチを0.3秒以上押します。
本機の電源が切れ、全ての表示灯が消灯します。
本体アンプの電源は本機電源「入」に連動して、入った場合のみ切れます。
ただし、他機使用中表示灯が点灯している場合には本体アンプの電源は切れません。



■ 設置上のご注意

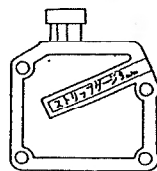
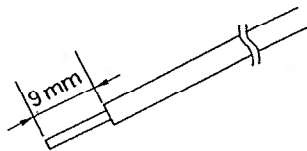
- 本機の電源はDC12～24Vです。本体アンプの後面の『DC出力』、『E』端子から電源を供給してください。
- 本体アンプから供給できる電源は、本機1台分のみです。
本機を複数台設置される場合は、2台目以降の電源はACアダプタをご使用ください。
(10ページ『ACアダプタの接続のしかた』参照)
- 通信制御線にはツイストペア線をご使用ください。
ケーブルの長さは800m以下にしてください。
+と-の極性をあわせて接続してください。極性がないと正常に動作しません。
- 本機端子台はネジなし端子台を使用しています。
工具を使わずに接続できます。
- 複数台設置される場合には、各リモートマイクのアドレスNo.を重複しないよう設定してください。(12ページ『アドレス設定のしかた』参照)

■ ネジなし端子台の配線のしかた

本端子台への配線材は、 $\phi 0.65 \sim \phi 1.6$ (AWG22~14) をご使用ください。

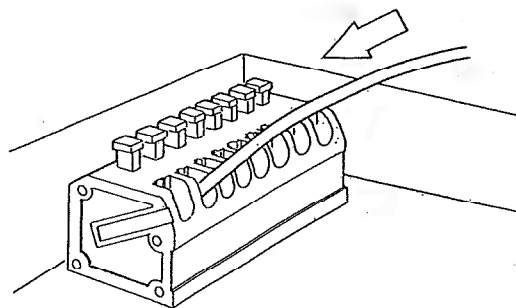
1. 配線端末の皮覆を9mmむきます。

※端子台横のストリップゲージをご使用ください。



2. 単線の配線

端子台穴に線を差し込み、皮覆の根本まで押し込みます。



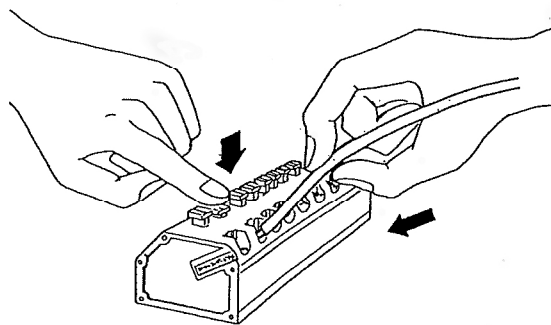
より線の配線

上部のロックスイッチを押し、皮覆の根本まで線を押し込み、ロックスイッチをはなします。

線ははずす場合は、上部のロックスイッチを押し、線を引き抜きます。

ご注意

ロックスイッチはあまり強く押さないでください。

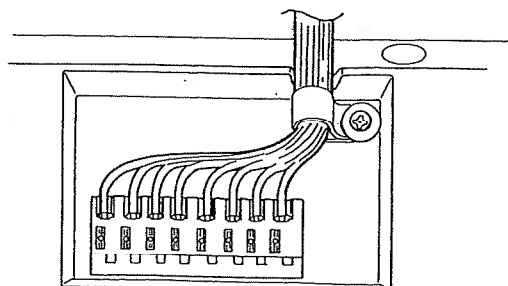


3. 接続が終わりましたら、コードクランプで線を束ね、ネジ止めしてください。

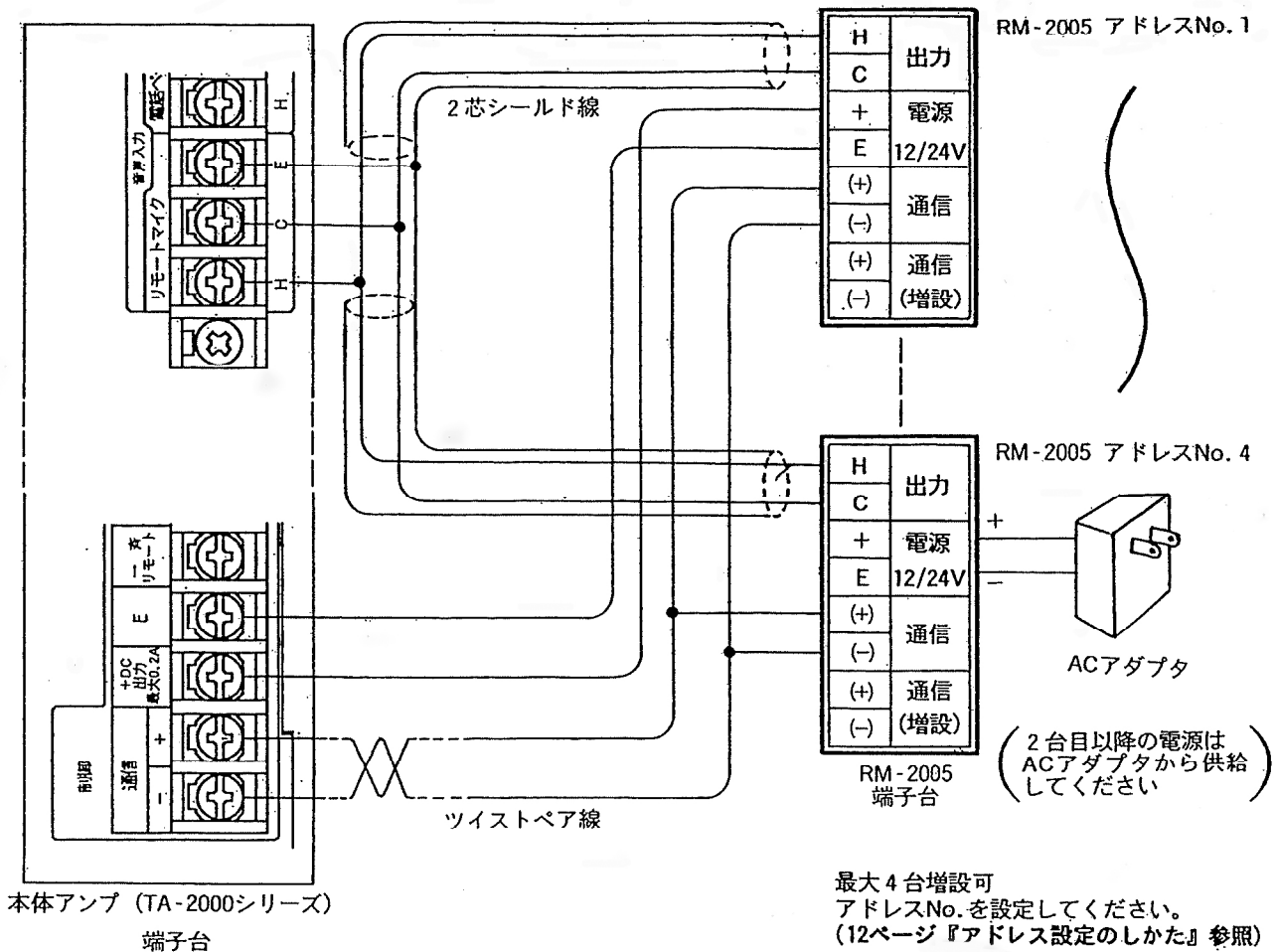
(配線材の太さに合わない場合、太さに合ったコードクランプに交換してください。(2種類付属))

ご注意

コードクランプ固定用のネジは強くしめすぎないようにしてください。

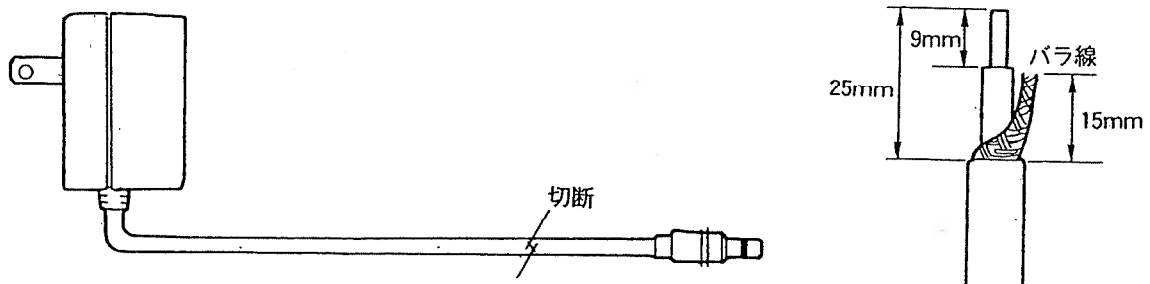


■ 本体アンプ (TA - 2000シリーズ) の接続のしかた

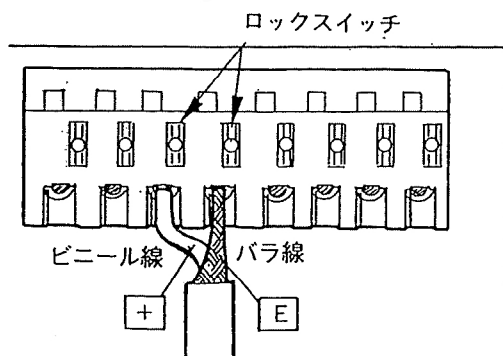


■ ACアダプタの接続のしかた

1. ACアダプタ (AD - 122) のDC出力側のプラグを切断し、下図のように端末処理します。



2. ビニール線側を電源「+」端子、バラ線側を電源「E」端子に接続します。



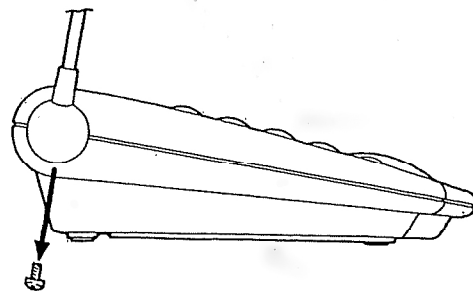
- ① ロックスイッチを押す
- ② 線を差し込む
- ③ ロックスイッチをはなす

※ACアダプタは、DC-12V ~ DC-24V 電流 180mA 以上のものであれば使用可能です。

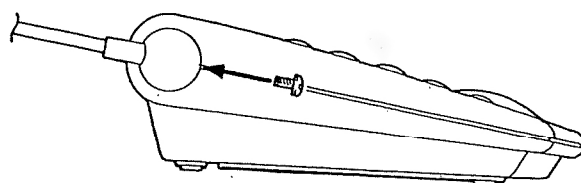
■ 壁掛けのしかた

1. マイクロホンを取付けているネジをはずし、マイクロホンを本体から抜き取ります。

※強くひっぱらないでください。

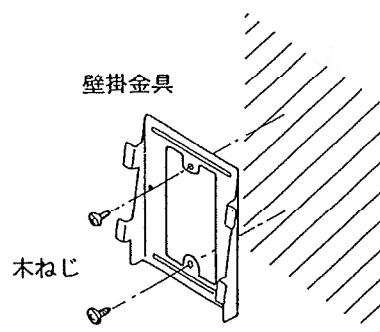


2. マイクロホンを、90°回転させた位置で本体側の金具に沿って差し込み再度、ネジ止めします。



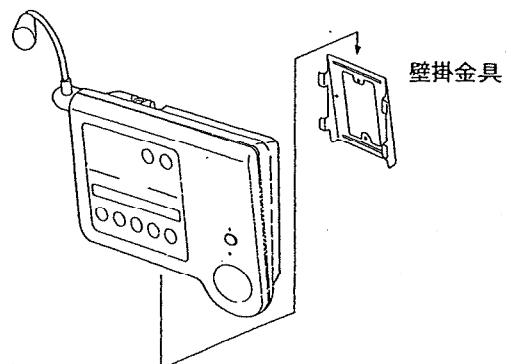
3. 壁掛金具の取付け

付属の木ねじで直接壁に取付けます。



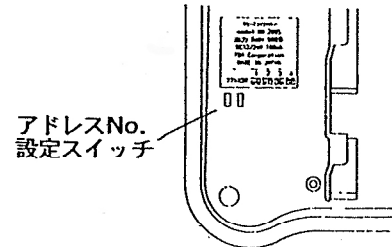
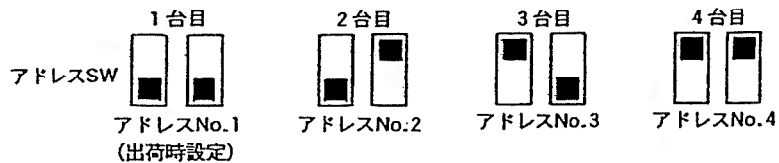
4. 壁掛金具への取付け

本機底面の壁掛金具はめ込み部と壁掛金具を合わせ、下へ押下げます。

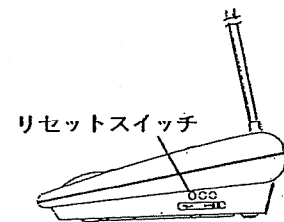


■ アドレス設定のしかた

- 本機は最大4台まで増設できます。
- 増設して使用される場合には、各リモートマイクに重複しないようアドレスNo.を設定してください。
- アドレスNo. 設定スイッチは本体底面にあります。



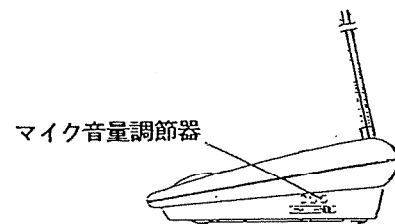
- アドレスNo. 設定後は、リセットスイッチを押してください。(右側面)



- 本機を1台だけ使用される場合には、アドレスNo. の設定は必要ありません。

■ マイク音量の調節のしかた

1. 本機右側面にマイク音量調節用ボリュームがあります。



2. マイクで放送しながら適当な音量に⊖ドライバで調節してください。

(工場出荷時にボリューム位置はセンター付近に調整してあります。)

時計方向に回すとマイク音量が大きくなります。

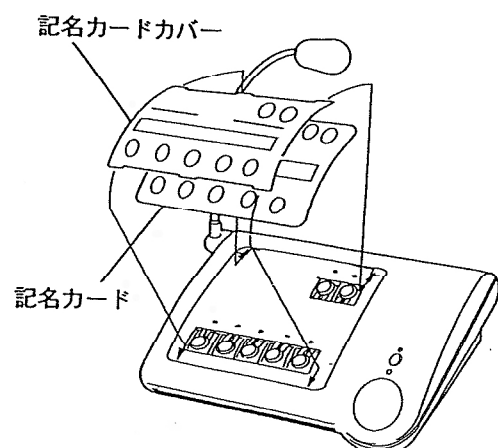
反時計方向に回すとマイク音量が小さくなります。



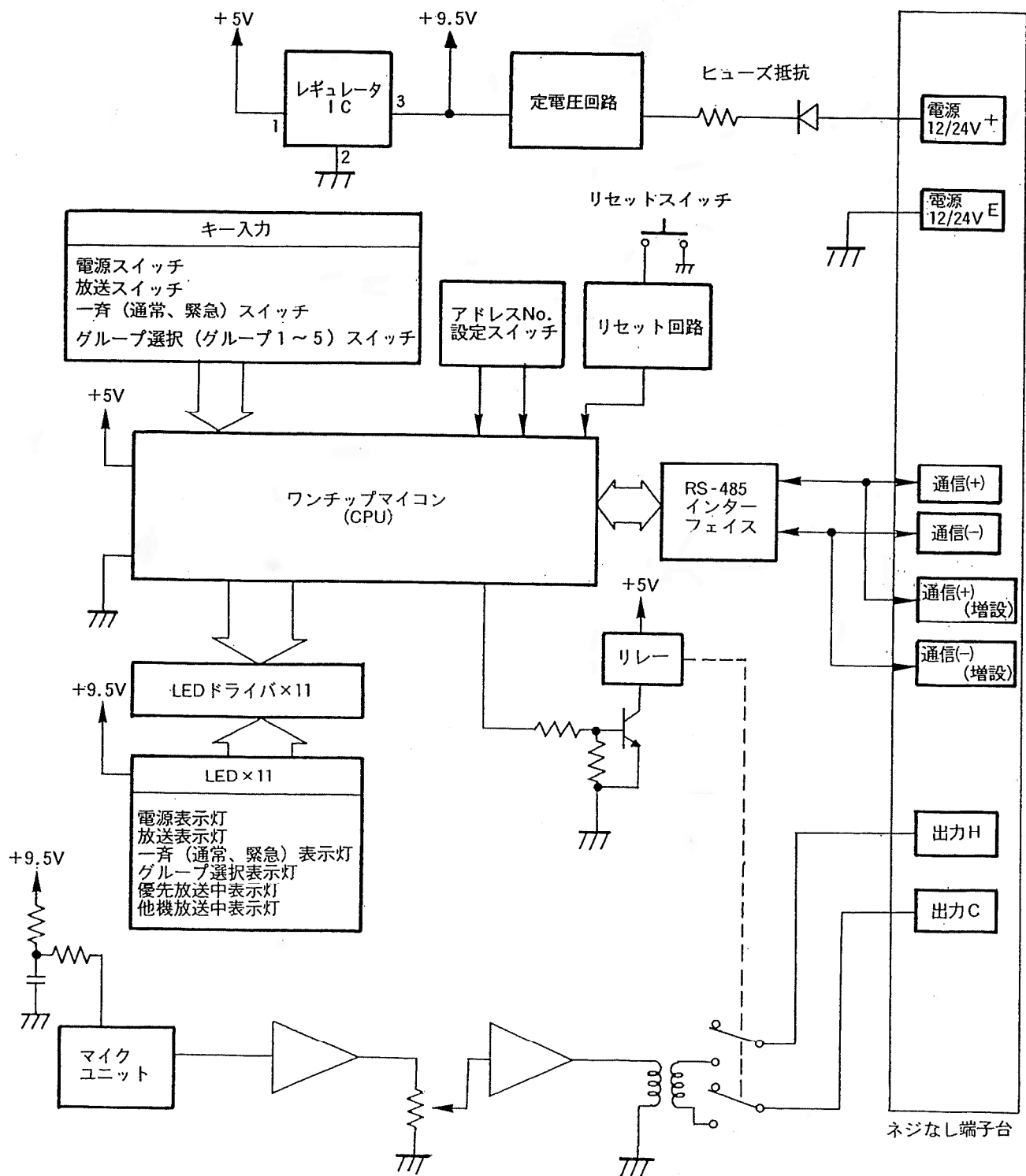
■ 記名カードの記入 (交換) のしかた

1. 記名カードカバーのすき間に、先端のとがったものを差し込み、持ち上げて取りはずします。
2. 記名カードを取りはずし、記入 (交換) します。
3. 記名カードを、ボタンに沿ってはめ込み、その上からカードカバーを差し込みます。

(※裏表に注意)



■ ブロック図

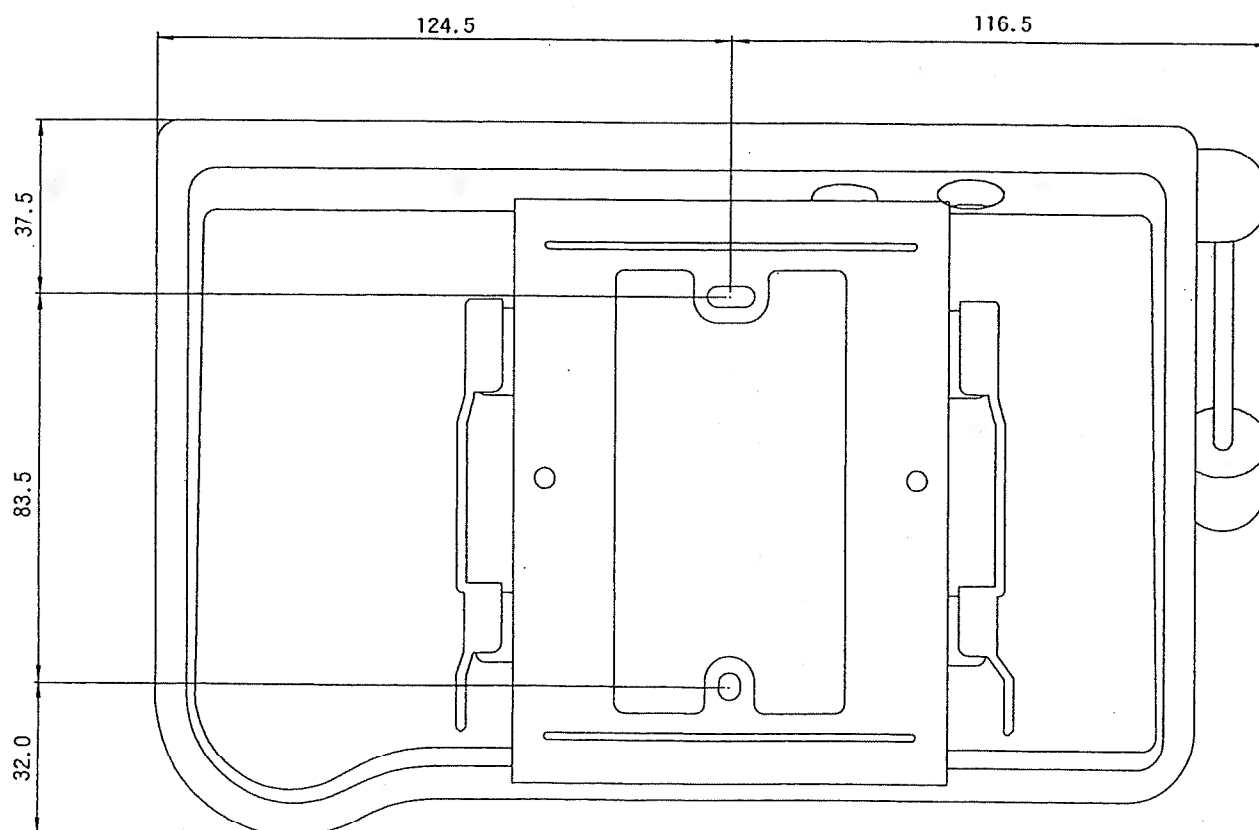


■ 仕様・付属品

電 源	DC 12 ~ 24 V
消 費 電 流	最大 180 mA
出 力	0 dBV 600Ω 平衡型
マイク ロ ホ ン	単一指向性エレクトレットコンデンサマイクロホン
ス ピ ー カ 制 御	グループ 1 ~ 5, 一斉 (通常, 緊急)
通 信 制 御 方 式	RS-485 制御
そ の 他	マイク音量調節器
接 続 線	2 芯シールド線 + 2 ツイストペア線 + 2 電源線
通 信 距 離	800 m 以下
線 路 抵 抗	10Ω 以下
仕 上	ABS 樹脂 ブライトグレー (マンセル 6.1Y 7.6/0.4 近似色)
寸 法	241 (W) × 51 (H) × 151 (D) mm
質 量	約 500 g
付 属 品	コードクランプ…………… 2 (大、小) 記名カード…………… 1 壁掛金具…………… 1 木ネジ 3.5×25…………… 2

※本機の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

■ 底面寸法図 (壁掛金具取付時)



■ 故障かな？と思ったら

症 状	点 検 項 目	処 置
電源表示灯が点滅している。	本体アンプとの通信が正しく行なわれていません。 通信制御線がはずれていませんか？ 通信制御線の極性（＋、－）をまちがっていませんか？	通信制御線を正しく接続します。 （10ページ『本体アンプの接続のしかた』参照）
電源が入らない。	電源線がはずれていませんか？ 通信制御線の極性（＋、－）をまちがっていませんか？	電源線を正しく接続します。 通信制御線を正しく接続します。
マイク放送ができない。	優先放送表示灯が点灯していませんか？	本体アンプで優先放送が行なわれています。 表示灯が消えてから放送します。
	放送系統を選択していますか？	放送系統を選択してから放送します。
	音声出力線がはずれていませんか？	音声出力線を接続します。
マイク放送の途中で放送が切れる。	他機放送中の表示灯が点灯していませんか？	他の放送が割り込み放送しています。 他機放送中表示灯が消えてから再度、放送スイッチを押して放送してください。
マイク放送の途中で放送が切れる。（本機を2台以上増設している場合）	各リモートマイクのアドレスNo. は正しく設定されていますか？	アドレスNo. を正しく設定します。 （12ページ『アドレス設定のしかた』参照）



TOA お客様相談センター	フリーダイヤル (無料電話)
商品の内容・組み合わせ・取り扱い方法や修理に関する ご相談にお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)	TEL. 0120-108-117 TEL. (0797) 72-7567 FAX. (0797) 72-1090

商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>

133-04-180-6B